

NO.1 ボーリング調査

地盤に細い孔を深くあけていく
ボーリング孔を利用して調査を行う
代表的な調査

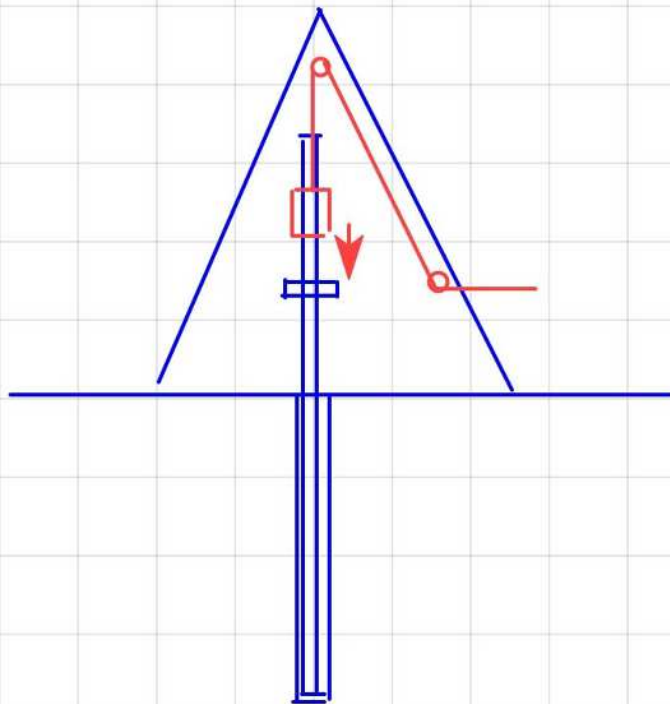
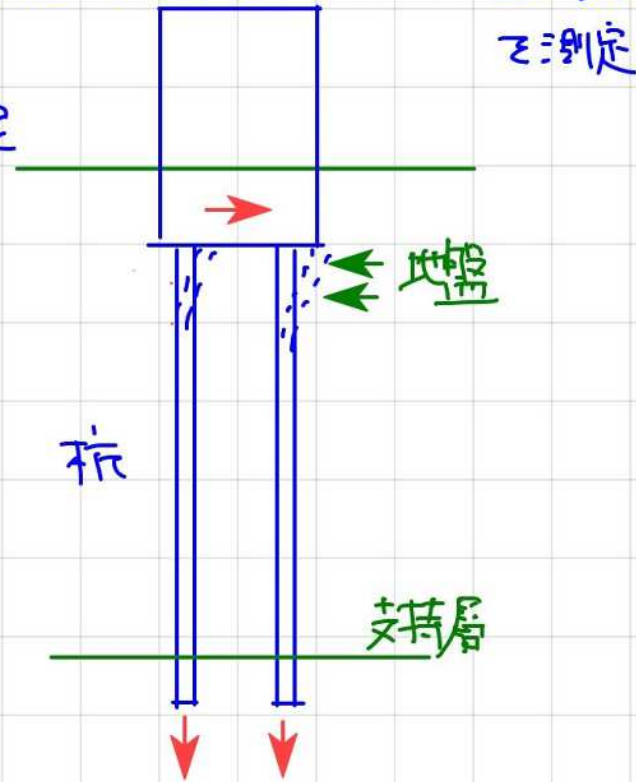
標準貫入試験

→ 63.5kgのおもりを高さ76cmから落下、30cm貫入させ打回数

孔内水平載荷試験

→ ゴムチューブを膨張させて孔壁の変位 (N値)

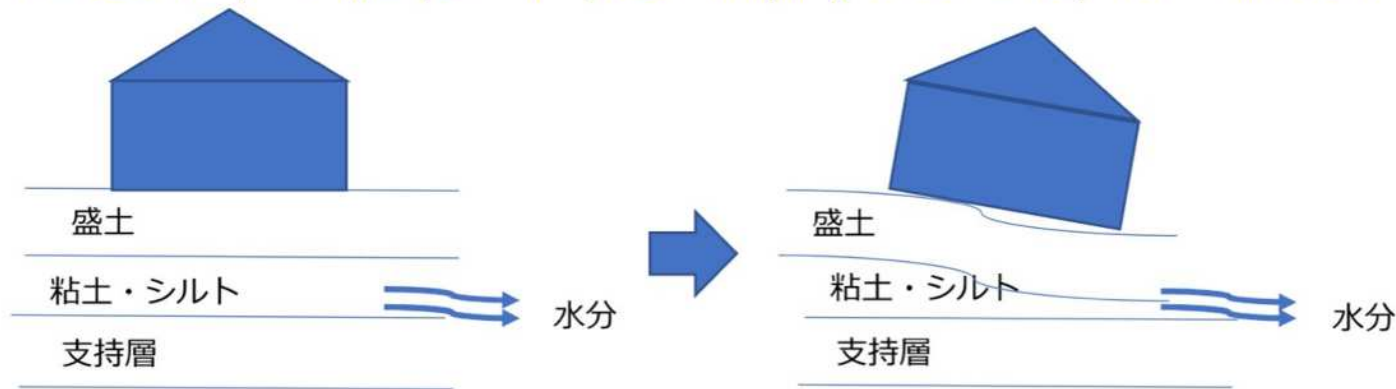
土の採取 → 土の強さ、かさ
粒度など測定



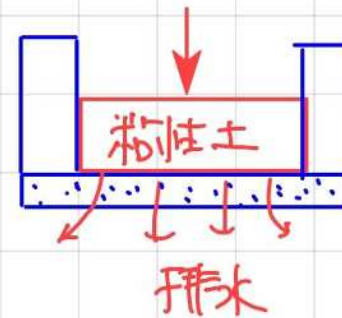
NO.2 圧密試験 → 粘性土の圧縮性, 圧密降伏点などを求める

圧密沈下の検討に用いる

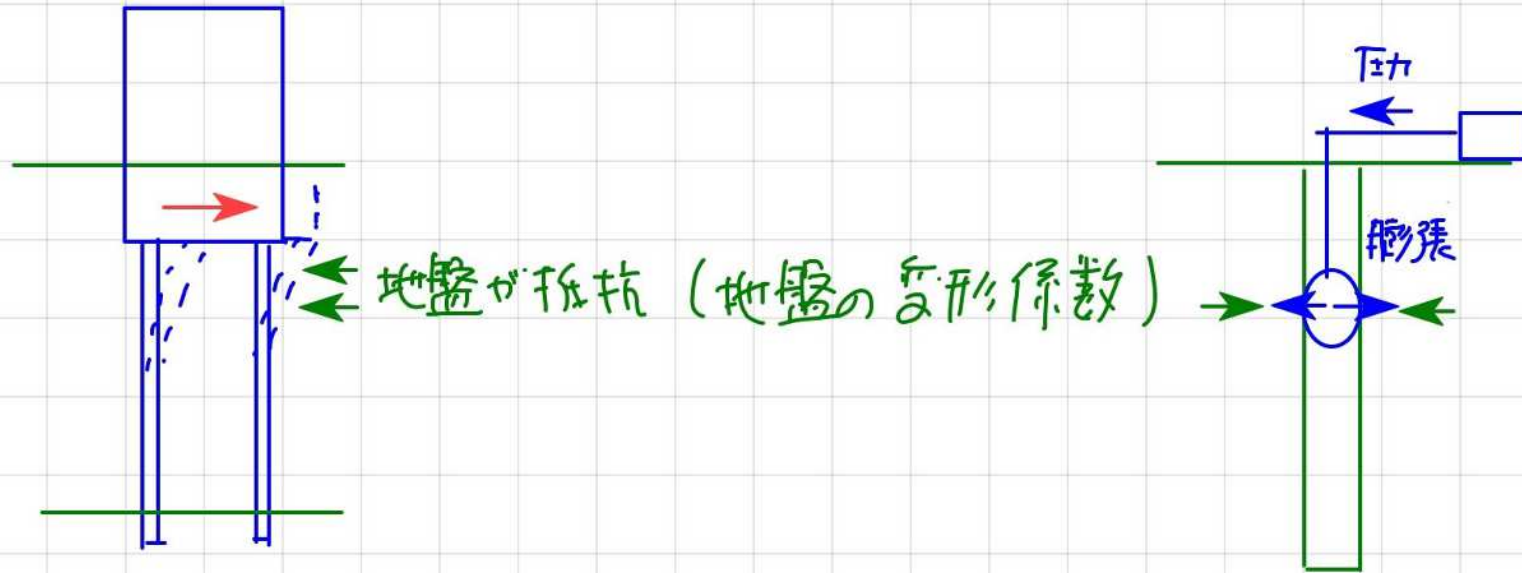
圧密沈下: 粘性土が荷重の作用によって長・時間をかけて排水しながら体積を減少させる現象



砂質土に生じる沈下: 即時沈下



NO3. 3次元水平載試験



N04. 粒度試験 → 細粒分含有率

試験の方法

ふるい分け



5mm (0.005mm) 75μm (0.075mm) 2mm

粘土 シルト 砂 礫

細粒分

液状化：水で飽和した砂質土が振動による間隙水圧の上昇によってせん断抵抗を失う現象
起りやすい条件：細粒分含有率が低い（粘土、シルトが少ない）、 λ 値が小さい

